

## 第621回 定期演奏会

The 621st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

ジェルメッティの「ボレロ」～熱狂のクレシェンド

世界屈指のチェリスト、ピオヴァノが奏でるドヴォルザーク

指揮 ジャンルイジ・ジェルメッティ

Conductor : Gianluigi GELMETTI

チェロ ルイジ・ピオヴァノ

Cello : Luigi PIOVANO

ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲  
 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲短調op.104  
 ラヴェル：道化師の朝の歌  
 ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ  
 ラヴェル：ボレロ

Rossini : Overture from Opera "William Tell"  
 Dvořák : Concerto for cello and orchestra in B minor op.104  
 Ravel : Alborada del gracioso  
 Ravel : Pavane pour une infante défunte  
 Ravel : Boléro



©Alain Hanel

©Dario Acosta

## 京都市交響楽団

2018 3/17(土)・3/18(日)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分  
午後2時30分開演(午後1時30分開場)

Sat, March 17, 2018 / 2:30PM Sun, March 18, 2018 / 2:30PM Kyoto Concert Hall

開演前(午後2時10分ごろから)は  
 指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。  
 「プレトーク」はホール・ステージ上で開催します。

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&amp;後半券 S ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000

※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2018年3月9日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-711-3110)までお問い合わせください。

プレイガイド(電話予約)

- 京都コンサートホール… (075)711-3231 ●ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入… <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570)02-9999 Pコード315-351
- ローソンチケット… (0570)000-407 Lコード54583



©伊藤菜々子

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <http://www.kyoto-symphony.jp/>  
京都コンサートホール (075)711-3231 <http://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーションROHM  
SEMICONDUCTOR

# 京都市交響楽団

## 第621回定期演奏会

モンテカルロ・フィル、ローマ歌劇場のシェフを務めたジャンルイジ・ジェルメッティが、愛して止まないラヴェルの傑作をメインに、「ウィリアム・テル」序曲では「ロッシェニ指揮者」としての腕前も披露。ローマ・サンタ・チェチーリア管の首席チェロ奏者ルイジ・ピオヴァノによる名曲ドヴォルザークと併せて、2017年度のフィナーレにふさわしい熱きクライマックスを!

### The 621st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮

ジャンルイジ・ジェルメッティ  
Conductor : Gianluigi GELMETTI



1945年ローマの生まれ。イタリア国内でセルジュ・チェリビダツケやフランコ・フェラーラ、ウィーンの音楽大学でハンス・スワロフスキーらに指揮を学ぶ。1967年にフィレンツェ国際指揮者コンクールで優勝。レパートリーは古典派から現代音楽まで幅広く、オペラにもその手腕を発揮している。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団でヘンツェの第7交響曲を初演してから注目され、程無くしてネヴィル・マリナーの後任としてシウトウトガルト放送交響楽団の常任に就任。ラヴェルなどのフランス物やストラヴィンスキー、ヴァレーズなどの現代物も手がけ、またシュヴェツィンゲン音楽祭ではモーツァルトやロッシェニのオペラの上演などしている。シドニー歌劇場、ローマ歌劇場、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団などのポストを歴任。美しいバトン・テクニック、均衡の取れた明るい正統的な音楽で常に聴衆を魅了。クラウディオ・アバドやアルベルト・ゼツダと並んでイタリアの「ロッシェニ指揮者」とも言われる。レコーディングも数多く、EMI、SONY、Teldec等に、ロッシェニ、プッチーニ、モーツァルトのオペラ作品はもちろん、モーツァルト、ストラヴィンスキー、ニーノ・ロータまで幅広いレパートリーの管弦楽作品も取り上げ名盤を残している。また、シエナのキジアーナ音楽院、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院で後進の育成にも情熱を注いでいる。

フランス物やストラヴィンスキー、ヴァレーズなどの現代物も手がけ、またシュヴェツィンゲン音楽祭ではモーツァルトやロッシェニのオペラの上演などしている。シドニー歌劇場、ローマ歌劇場、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団などのポストを歴任。美しいバトン・テクニック、均衡の取れた明るい正統的な音楽で常に聴衆を魅了。クラウディオ・アバドやアルベルト・ゼツダと並んでイタリアの「ロッシェニ指揮者」とも言われる。レコーディングも数多く、EMI、SONY、Teldec等に、ロッシェニ、プッチーニ、モーツァルトのオペラ作品はもちろん、モーツァルト、ストラヴィンスキー、ニーノ・ロータまで幅広いレパートリーの管弦楽作品も取り上げ名盤を残している。また、シエナのキジアーナ音楽院、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院で後進の育成にも情熱を注いでいる。

チェロ

ルイジ・ピオヴァノ  
Cello : Luigi PIOVANO



© Laurence Heym

イタリア・ペスカラ生まれ。1989年、グシュタード(スイス)のメニューイン国際音楽アカデミーに入学。カメラータ・リシーのメンバーとして、またソリストとしてもメニューインの指揮で世界各地のコンサートに出演。その後、さらにパリのヨーロッパ音楽院で、チェロと室内楽で学位を取得。トラパーニ、イルザツシュなどの国際コンクールで入賞。1999年、メニューイン・フェスティヴァルに参加。同年、ポリニ・プロジェクトで、ザルツブルク音楽祭にデビューを飾った。2001年ニューヨークのカーネギーホール、2002年東京、2003年ローマでも演奏。アメリカのニューポート音楽祭からは2000年以後、定期的に招かれている。ソロ・室内楽奏者として、ヴォルフガング・サヴァリツシュ、アントニオ・パッパーノ、チョン・ミョンファン、ラベック姉妹、ドミトリー・シトコベツキ、レオニダス・カヴァコスらと共演している。1998年からは、イタリア、ランチャーノにおいて、フレンターノ夏の音楽祭の芸術監督を務めている。2002年に自身が創設したカンパニア室内オーケストラで指揮者として活動を始めたのをきっかけに、近年指揮者としてもキャリアを拡げており、2012年の秋には、マーニャ・グレーチャICO管弦楽団、2013年にローマ・トレ・オーケストラのそれぞれ音楽監督に任命されている。加えて、現在サンタ・チェチーリア弦楽オーケストラの首席指揮者としても活動している。ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団の首席ソロ奏者。使用楽器は1710年頃作製されたアレクサンドロ・ガリアーノ。



©伊藤菜々子

同年3月には「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

### 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、2007年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「オペラ・オーケストラ部門賞」及び広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には広上淳一の指揮のもと18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー 6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回(2016年度)音楽フリティック・クラブ賞」本賞、アドヴァイザーに広上淳一(2016年度)音楽フリティック・クラブ賞を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 1/20 ㊦  
から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 2/16 ㊦  
から発売!

### 第622回定期演奏会

ダミアン・イオリオ、鮮烈の日本デビュー!  
レスピーギの最高傑作、珠玉の「ローマ三部作」

日時: 2018年 4月13日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: ダミアン・イオリオ

曲目: レスピーギ: 交響詩「ローマの噴水」  
レスピーギ: 交響詩「ローマの松」  
レスピーギ: 交響詩「ローマの祭」



### 第623回定期演奏会

広上淳一で聴く生誕100年バーンスタイン!  
本格派ピアニスト河村尚子が挑む「不安の時代」

日時: 2018年 5月19日(土) 午後2時30分開演  
2018年 5月20日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: 広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー)

独奏: 河村 尚子 (ピアノ)

曲目: バーンスタイン: 交響組曲「波止場」  
ショスタコーヴィチ: 交響曲第9番変ホ長調op.70  
バーンスタイン: 交響曲第2番「不安の時代」



©K.Miura



©Hirofumi Tsuka

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)